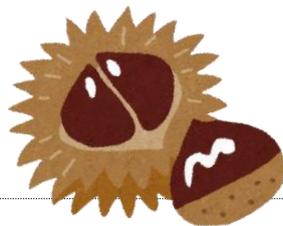


守谷ボランティア NEWS

2021年11月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: http://moriya-cac.org/
開館時間: 午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

子ども服リサイクル会「くるくる」

ご自宅にある着られなくなった子ども服を交換しませんか。今年度は予約制になります。※開催情報など、詳しくはFacebookをご確認ください。

- 日時 11月12日(金)、12月4日(土)、令和4年2月4日(金)、3月11日(金) 各回10:30～12:00



- 参加費 「くるくるコース」100円 洋服と洋服を交換できます。「お持ち帰りコース」5点ごとに300円 洋服を持ち帰れます。マイバッグを持参してください。
- 場所 市民活動支援センター 会議室
- 主催 もりや子ども服リサイクルの会
- 予約・問合せ先 佐藤
メール: moriya.kurux2@gmail.com



Facebook

展示 「だれもがヒーロー」

～肢体不自由・医療的ケア児の写真展～

肢体不自由・医療的ケア児のママサークル「そら～ち」の写真展です。医療的ケアや福祉用具の写真、「そら～ち」の子どもたちの日常の写真などを展示します。



- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 日時 11月7日(日)～11月21日(日)
※新型コロナウイルスの感染状況により、展示期間を変更する場合があります。変更については、そら～ち Twitter にも都度投稿していく予定です。
- 問合せ先 そら～ち 小菅
E-mail: sorachi2021niji@gmail.com
Twitter: @sorachi2021

登録団体活動情報 11月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	間宮 45-3066
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269

助成金情報 *内容に変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

環境保全 社会教育	～11/30 子どもゆめ基金 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 https://yumekikin.niye.go.jp/
医療・福祉	～11/30 2022 年度ヤマト福祉財団助成金 公益財団法人ヤマト福祉財団 https://www.yamato-fukushi.jp/
環境	～12/2 地域環境基金助成金 独立行政法人環境再生保全機構 https://www.erca.go.jp/

編集後記



「関係人口」とは、一時的ではなく継続的に地域や地域住民と関係を持っている人々のことをあらわします。移住した人々は「定住人口」。観光や通勤通学している人々は「交流人口」といいます。その中間的な位置づけの人々をあらわす概念として使われています。例えば、祖父母の生まれ故郷で将来的に住みたいと考えている人や、その地域のファンで何度も足を運んでいる人、ビジネスなどの活動で地域の人々と協力して活動している人などがあてはまります。熱烈的なファンを増やそうといった戦略です。地域における人材の確保や育成と深くつながっており、関係人口を増やすことが将来的な地域の活性につながると期待されています。

誰もが遊べる「インクルーシブ公園」の講演会・ワークショップを開催しました

2021年10月10日(日) 第1部13:00~14:30 第2部14:40~15:30 @市民活動支援センター

～守谷市に未来の公園が誕生します～

令和5年度 立沢公園に守谷初のインクルーシブ公園が誕生します!! 多様性が求められる現在。市民の皆さんとワークショップを行いながら、様々な意見やアイデアをだし合い「誰もが遊べる公園」「みんなが笑顔になれる・支えあえる公園」になっていければと思います。

10月10日(日)「インクルーシブ公園」の講演会・ワークショップをオンラインメインのハイブリット形式で開催いたしました。コロナ禍の開催でしたが、第1部会場7名、オンライン26名、第2部オンライン15名、10代~80代と幅広い世代が参加してくださいました。

 講師は、龍円 あいり先生。東京都議会議員を務めながら、ダウン症である子を育てるシングルマザーです。

インクルーシブ公園という言葉は、アメリカではインクルーシブプレイランドといい、龍円先生がみんなに広まるように考えた造語です。

障がい児をもつ親御さんにとって、「公園は素通りするもの…」というイメージがあり、「周りの目が気になり遊べない」「公の場に連れて行くのが不安」などの理由で、ひきこもりになりがち。龍円先生の体験も活かしながら、「障がい者だけが遊べる」「健常者だけが遊べる」といったものではなく、「みんなが一緒に遊べる」「地域の方も安らげる」多様性が求められる公園づくりを目指していると語ってくださいました。



龍円先生の素晴らしい講演の後、参加者の皆さんとの質疑応答がありました。その中の1部を紹介します。

参加者.高齢者も行ってみたくと思う公園にするためには、植樹をして、やすらぎを感じられる場所にしていきたいと思います。いいのではないのでしょうか?

龍円先生.いろいろな方が集える憩いの場所にしていこうために、花壇の整備など、またいろいろな方に携わってもらうことが大切です。



参加者.落書きや、ゴミが増えたらどうする?公園が危ない・怖いイメージではなく、明るい場所にするにはどうしたら良いのでしょうか?

龍円先生.例えば子どもたちと一緒に壁に絵を描いたり、住民が注目している場所にする事で抑制ができるのではないのでしょうか。また公園を作った後の管理も重要になります。…など、ためになるお話が聞けて感動しました!

続いて第2部ワークショップはオンライン(Zoom)で行われました。各グループ(ブレイクアウトルーム)に分かれて「公園を通じて守谷にインクルーシブなコミュニティを生み出すためのアイデアとは?」をテーマに意見を出しあいました。どのグループも時間が足りないくらい、さまざまなアイデアがでました。

従来は実際に対面で会って付箋を使ったブレインストーミングをしていましたが、オンラインでもGoogleのツールを使って、付箋の役目ができ、オンラインワークショップの新しい可能性が発見できました。

【アンケートより】

「インクルーシブ公園というものを、知りませんでした、実際の公園の写真や動画などもあり、とてもわかりやすかったです」「初めてこのようなワークショップに参加しましたが、短時間にたくさんのアイデアが出て、自分では思いつかないご意見もあってとても参考になりました」

「一人一人が自分のこととして考え、みんなで作りに上げる公園が楽しみです」「インクルーシブ公園についての取り組みは素晴らしいと思います。守谷市にも公園が出来る事、嬉しくまた楽しみにしています」



立沢公園建設予定地

